

安全データシート

ページ: 1/14

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Vitamin A-Propionate 2.5 Mio IU/G stabilized with BHT

バージョン: 7.0

(30041062/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 08.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Vitamin A-Propionate 2.5 Mio IU/G stabilized with BHT

用途: 飼料添加物

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

急性毒性: 区分5 (経口)

皮膚腐食性/刺激性: 区分3

生殖毒性: 区分1B (胎児)

水生環境有害性 短期(急性): 区分3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分3

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H316	軽度の皮膚刺激。
H303	飲み込むと有害のおそれ。
H360	胎児への悪影響のおそれ。
H402	水生生物に有害。
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き（安全対策）:

P280	保護手袋と保護衣と保護眼鏡または保護面を着用すること。
P273	環境への放出を避けること。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

注意書き（応急措置）:

P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P301 + P312	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

注意書き（保管）:

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。
------	---

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

細かく分散されると自己発火の恐れあり。漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

記載の物質に基づく調剤:

レチニルプロピオネート

記載の物質で安定化:

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

GHS分類に寄与する成分

レチニルプロピオネート

含有量 (W/W): $\geq 75\%$ - $\leq 100\%$

CAS番号: 7069-42-3

化審法: (8)-509

労働安全衛生法: (8)-509

急性毒性: 区分 5 (経口)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 3

生殖毒性: 区分 1B (胎児)

水生環境有害性 長期 (慢性): 区分 4

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

含有量 (W/W): $\geq 1\%$ - $< 3\%$

CAS番号: 128-37-0

化審法: (3)-540

労働安全衛生法: (3)-540

水生環境有害性 短期 (急性): 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性): 区分 1

M-ファクター慢性: 1

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き (回復体位) で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水と石鹸で十分に洗い流し、医師の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医師の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 泡, 粉末, 二酸化炭素

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

有害な蒸気, 炭素酸化物

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。 フューム/霧の発生

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。容器を噴霧水で冷却する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

保護具を着用する。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。十分な換気を確認すること。蒸気／スプレーを吸入しないこと。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。製品を水路や下水道に漏洩させた場合には、役所に報告すること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 適切な吸着剤に吸着させる。清掃時に吸着剤としておが屑や可燃物を使用しない。容器に物質を回収した後、すぐに水で覆う。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。不燃性吸着剤（例: バーミキュライト、流出防止マットなど）で流出物を拭き取る。汚れた布地/雑巾/吸着剤およびシリカは自己発火する可能性があるため、水で湿らせて安全な方法で廃棄する必要がある。

[追加情報]: 漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。天然繊維（例えば、純粋なウールや純粋な綿など）で作られた汚れた布地/雑巾は発火する可能性があるため、使用しないか、安全な方法で廃棄する必要がある。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。適切な保護衣および眼/顔面用の保護具を着用すること。エアゾールを発生させない。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。容器は密閉して保管する。使用前に、確実に、容器中に結晶化した製品がないようにする。局所排気装置を設置すること。

安全取扱注意事項:

本品が分散するなどして表面積が拡大した場合、自己発火の危険性あり。汚れた布地/雑巾/吸着剤およびシリカは自己発火する可能性があるため、水で湿らせて安全な方法で廃棄する必要がある。静電気放電に対する予防措置を講ずること。あらゆる着火源（熱、スパーク、裸火など）を近づけない。

[保管]

酸化剤から離して保管する。

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して、乾燥した涼しい場所に保管する。空気との接触を避ける。光の影響を受けないようにする。窒素ガス雰囲気での保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール, 128-37-0;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 2 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入可能留分及び蒸気

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 10 mg/m³ (濃度基準値 (安衛則 第577条の2第2項))

施行日: 2024年4月1日

[保護具]

[呼吸用保護具]:

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具: 有機化合物 (沸点65°C以上) のガス/蒸気用ガスフィルターEN 14387 A型

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること): ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

補足: 仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため (温度など)、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりもかなり短いと考えなければならない。

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡 (フレームゴーグル) (例 EN 166)

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。))。

[一般的な安全及び衛生対策]:

妊娠初期の妊婦はこの製品に暴露させてはならない。いかなる場合にも、この製品を妊婦の皮膚に接触させたり、妊婦に吸入させたりしてはならない。皮膚との接触を避けること。所定の保護具に加えて、上下一体型作業衣の着用が必要である。労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。作業場では飲食や喫煙をしない。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。作業服は、他の物と分けて保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	黄色
臭い:	ナッツのような臭い
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH:	物質/混合物は（水に）不溶性
融点:	< 20 ° C
沸点:	物質が分解するため、測定不能。
引火点:	161.0 ° C (ISO 2719)
可燃性 (固体/ガス):	発火性低い。
爆発下限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。
爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。
自然発火温度:	291 ° C (DIN EN 14522)
熱分解:	>= 165 ° C (DSC (DIN 51007))
自己発火性:	温度: 291 ° C (測定方法: EU指令 92/69/EEC, A. 15)
自己発熱性:	該当しない、製品は液体である。
SADT:	> 75 ° C Heat accumulation / Dewar 500 ml (SADT, UN-Test H. 4, 28.4.4)
爆発危険有害事項:	爆発性なし。
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。
蒸気圧:	< 1 hPa (20 ° C)
密度:	0.94 g/cm ³ (20 ° C)
相対ガス密度（空気）:	> 1 空気より重い。
水に対する溶解性:	難溶
溶解度（定性的） 溶媒:	有機溶媒 可溶

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow) :
混合物には適用されない

粘度:
データなし。

動粘性率:
データなし。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: $\geq 165^{\circ}\text{C}$ (DSC (DIN 51007))

[混触危険物質]:
酸化剤

金属の腐食: 金属に対する腐食性はないと予測される。

[危険有害な分解生成物]:
空気の下で可燃性の表面上に細かく分散した時、自己発火の可能性がある。

[危険分解物]:
通常の実用条件下で危険分解物なし。

化学安定性:
製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性毒性の評価

単回の摂取であれば、低毒性である。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:
LD50 (半数致死量) ラット (経口): $> 2,000\text{ mg/kg}$ (BASF試験)
死亡なし

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 5, 000 mg/kg (OECDテストガイドライン401)

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚接触により、軽度の刺激が生じる。眼刺激性なし。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

刺激性作用の評価:

皮膚接触により刺激を生じる。眼刺激性なし。

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

刺激性作用の評価:

皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

実験または計算によるデータ:

モルモットに対するmaximization法 モルモット: 感作性なし (OECDテストガイドライン406)

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

実験または計算によるデータ:

モルモットに対するmaximization法 モルモット: 感作性なし (OECDテストガイドライン406に類似)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

変異原性の評価:

数多くの試験(バクテリア/微生物/培養細胞)においては、変異原性は認められなかった。In vivo試験においても、変異原性は認められなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

発がん性

発がん性の評価:

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

発がん性の評価:

発癌性に関する信頼性の高いデータはなかった。

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

発がん性の評価:

評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

この物質は動物実験では発生毒性/催奇形性作用を示した。

発生毒性

催奇形性の評価:

この物質は動物実験では発生毒性/催奇形性作用を示した。 胎児を害する恐れがある。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

催奇形性の評価:

胎児を害する恐れがある。 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

多量の反復暴露で特定の臓器に影響を与える可能性がある。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

反復投与毒性の評価:

多量の反復暴露で特定の臓器に影響を与える可能性がある。

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

反復投与毒性の評価:

動物実験によると、この物質の高用量反復経口摂取は肝臓の障害を引き起こすことがある。

誤えん有害性

データなし。

その他該当する毒性情報

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:
長期継続的影響によって水生生物に有害。

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

魚類に対する毒性:

LC0 (0%致死濃度) (96 h) ≥ 0.57 mg/l, ゼブラフィッシュ (学名: *Brachydanio rerio*) (OECDテストガイドライン203, ISO 7346, 84/449/EEC, C, 半止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。限界濃度試験 (LIMIT試験) のみ。

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

水生無脊椎動物:

EC0 (effect concentration 0: 無影響濃度) (48 h) 0.48 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) > 100 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

水生植物:

EC50 (72 h) > 0.40 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Scenedesmus subspicatus*) (92/69/EEC, C. 3, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

微生物/活性汚泥への影響:

EC0 (effect concentration 0: 無影響濃度) (3 h) 1,000 mg/l, 活性汚泥 (DIN EN ISO 8192-OECD 209-88/302/EEC 第C, 好気性)

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

微生物/活性汚泥への影響:

EC20 (20%影響濃度) (3 h) > 1,000 mg/l, 家庭廃水由来の活性汚泥 (OECDテストガイドライン 209, 好気性)

廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

記載物質に関する情報: 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

無影響濃度 (21 日), 0.316 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-2, 半止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

陸生生物に対する毒性の評価:

データなし。

移動性

環境区分間の輸送評価:

土壌の固相に吸着すると考えられる。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

環境区分間の輸送評価:

データなし。

土壌の固相に吸着すると考えられる。

記載物質に関する情報: 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中に揮発しない。

土壌の固相に吸着すると考えられる。

残留性・分解性

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

容易に生分解性されない (OECD基準による) 中程度の／部分的な生分解性あり。

記載物質に関する情報: 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

この製品は、生態蓄積性の可能性がある成分を含有している。

記載物質に関する情報: レチニルプロピオネート

生体蓄積性の可能性評価:

生物への著しい蓄積はないと考えられる。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Vitamin A-Propionate 2.5 Mio IU/G stabilized with BHT

バージョン: 7.0

(30041062/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 08.10.2025

記載物質に関する情報: 2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール
生体蓄積性の可能性評価:
生物の体内に蓄積される可能性がある。

[追加情報]

環境面での最終到達点及び経路に関する追加説明:
製品は未試験である。環境動態及び経路に関する記述は個々の構成要素の特徴に由来している。

その他の環境毒性情報:
本品は未試験である。環境毒性に関する記述は、各成分の特性に基づくものである。

13. 廃棄上の注意

国のまたは地方の法定事項に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない	
国連番号もしくはID番号	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

海上輸送

IMDG	
輸送規則では危険有害性物質に分類されていない	
国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
海洋汚染物質:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Sea transport

IMDG	
Not classified as a dangerous good under transport regulations	
UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
Marine pollutant:	no
Special precautions for user	None known

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Vitamin A-Propionate 2.5 Mio IU/G stabilized with BHT

バージョン: 7.0

(30041062/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 08.10.2025

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 非該当

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項 知見なし

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping name: Not applicable

Transport hazard class(es): Not applicable

Packing group: Not applicable

Environmental hazards: Not applicable

Special precautions for user None known

指針番号: 171

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 非水溶性

2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール
化審法
優先評価化学物質2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール
労働安全衛生法
通知対象物2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール
労働安全衛生法
表示対象物

化学物質名又は元素名	化学物質排出把握管理促進法 (2023年4月1日以降)		
	含有量 (%)	分類, 管理番号	政令名称
2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール	2.5	第1種指定化学物質, 207	2, 6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。対応する職場作業員保護措置に従うこと。

【JIS Z 7252/7253：2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。